

時事新報定價
 時事新報は毎號八面乃至十二面にして詳細なる商況情
 價の報告あり其代價は左の如し
時事新報定價 (府外送付には此他後に)
 一 號 貳錢五厘 (一箇月 前金五拾錢) 〇三箇月 前
 金壹圓四拾五錢 〇六箇月 前金貳圓八拾五錢 〇一箇
 年 前金五圓六拾錢 〇月曜日休刊 (此他大祭祝日年
 始年末等一切休刊セズ)
 前金 一旦受取りたる前金は凡て通貨を以て返戻す
 る事なく新聞紙代の前金は新聞紙を以て又廣告料の
 前金は廣告を以て期定する事と御承知被下度候

時事新報送付料
 一 日本國內並に朝鮮京城、仁川、釜山、元山津
 一箇月 金拾三錢
 二 南亞米利加、中央亞米利加、米國若くは加奈陀を
 經て郵送する歐洲各國 一箇月 金六拾錢
 三 北米合衆國、英領加奈陀、布哇諸國 一箇月 金三拾錢
 四 香港を經て郵送する亞細亞諸國、太平洋洋諸國、澳
 洲 一箇月 金六拾五錢
 五 露領滿洲諸國、清國諸國 一箇月 金三拾五錢

時事新報廣告料(前定)
 一行五號活字并四號字 一日限 六日以上 七以上
 一行 二 付 十三號 十一號 十號 五號

廣告料を價 時事新報の廣告料は都て定價の通り申受
 くる者なれども取次人の内に往々定額以下にして引受
 次人に對し本報廣告の取次を謝絶する事もあるべき旨
 に付聲明廣告依頼者諸君に公告す

本社へ寄稿に付
 東京府下を始め各府縣に通信社なるものありて是より
 各新聞社に報道を發送し各新聞社は之を受けて紙面を
 填寫するより各社同一の記事を掲載するも多からず獨
 り時事新報社に社員並に通信員の多きを以て斯類の社
 社に依りて報道せしむるも世間往々此事を知らずして通
 信社に多きを如し爲めに本報に生じたる場合も其
 本社に對し發送せしむるを請ふ

時事新報

撰舉競争の新例を

望む

衆議院解散を命ぜられたるときは解散の日より五箇月
 以内に召集するも憲法の定むる所にして又召集には
 議院法により少くも四十日前に發令せざる可らざる
 が故にイブレ年度の總選舉は来る二三月の頃なる可し
 議員候補者は申すに及ばず官民一般の繁忙するに餘
 りある次第にして特に解散後の撰舉を前例によりて見
 るに尋常一機なる賄賂脅迫の域を超えて劍火飛び砲聲
 轟り人を殺し家を焼くの甚だしきに至りたるもさへ
 ありて實に人民の自由撰舉を害するのみならず餘炭永
 く延いて地方の安寧を妨げ其弊殆んど言ふ可らざるも
 のあり左れば吾も人も之を思ふ之を恐るゝの習とな
 りて例へば解散の一舉にても官民ともに其事の容易な
 らざるが如く驚むる所以は實の不便なるが故に非ず
 して實は之に伴ふ撰舉の弊(賄賂)を以てなり誠
 立憲國内の毒蓋にして之を瘞せざる限りは到底健全の
 生育望みなしと云ふも不可なれば我輩は常に心を
 用ひて矯正の策を求め之を憲西諸國の例に倣して秘密投

票の制も最も有なる可し云々とは毎度論じたる所
 なりしが世は「政技者の時代」にして政壇の混雜を奇貨
 として東馳西奔以て養生の料に供するの小輩多く爲め
 に議員も制肘せられて撰舉法の改正にも敢て秘密投票
 の案を立つる者なく在り今日に至りたるもなれば今
 度の撰舉にも定めて種々の怪談を耳にするならん
 扱々思はしき限りなれども秘密は後日のものとて差
 向き我輩が此際撰舉競争に新例を開かんことを望むも
 のは外ならず現内閣は前内閣の干渉を非難して遂に其
 更迭を促したる程の次第にして前議院も亦當時の惡例
 を攻撃して之を天開に拆へたるものなれば弊の弊たる
 は飽まで承知の所なるのみか苟も一點の德義心あら
 ば必ず其言に對して行爲を慎まざる可らざるや論を俟
 たず聞く所によれば政府に於ては決して干渉をなさずと
 雖も干渉元來不可なる上は何人の干渉も亦非ならざる
 を得ざるが故に民黨となく吏黨となく都て撰舉人の自
 由に任せ其自由を保護せんが爲めには乾度嚴重の取締
 をなす可し云々と願ふに前内閣とて亦眞正面目より干
 渉を公言したるにわらず撰舉の自由を保護せんとは矢
 張り其唱ふる所なりしかども實際に於ては中央の趣旨
 を傳へ又傳ふる間に嚴重にも誤解を重ねて遂に大なる
 不體裁を演じたるもとなり左れば現内閣に於ても或は
 同様ならんかと我輩の竊に掛念する所なれども既に弊
 に弊を重ねたる今日なれば是非とも既往の失體に倣ふ
 なきを祈り又實際に左るもはある可らずと信じて相
 顧みて民黨の一方を見れば實に干渉を攻撃したるの言
 責あるのみならず此回の解散たる政府が攘夷思想の顯
 露を憂ふるに出でたるが故に其決心も尋常ならずして
 猶ほ此未とも鐵腕の方針を屈せざる由なれば大に撰舉
 に勢して幸に當撰するを得るとして苟も其言行に排
 外黨の臭味あらんには政府は斷じて之を許さず議院
 の運命甚だ危くして又も第二の解散に遇はんも知る
 可らず左りとは排外宗旨の士人の爲めには甚だ面白
 らざる次第にして今度の撰舉に競争を試むるは先づ
 以て一考を要す可し目下流行の風潮に従へば非内地雜
 居又は現行條約履行論などをも撰舉競争の本格にし
 て縱橫無難に無責任の言論を逞ふれば或は一時の民
 心を動かして投票を得るも可しと雖も此種の
 當撰者が議院に集るときは其議院は必ず解散の運命に
 罹らざるを得ず勢して功なき大第なれば凡そ排外宗
 の候補者は此際大に節を變じて論議を極にするが然らざ
 りば競争當選を斷念するもならん我輩の最も新望す
 る所なり果して然らば政府も干渉は本意にあらず民黨
 も亦斷議する所ある可き譯にして以て心儀互に差違ふ
 るもよしならば是に於てか撰舉の面目始めて一新し延
 いて後年の好例撰舉となるを得可し蓋し此新例たるや
 必竟本然の性質にして從來は實に變形なるのみ實例
 散の餘偶然にも撰舉の本色に立歸るもを得ば豈また
 天下の慶事にもならずや新年の吉慶として敢て一言を呈
 する者なり

を呈したり
 二月 寒威頗る強く且つ降雪も多かりしかば養の發芽
 に多少の損害を及ぼすべく且つ又關東地方は昨秋連作
 なりし爲め一般に賣惜み深川より東京市中の需用米及
 び近國へ輸出するもの多くして輸入米少かりし然れど
 も運輸交通の便大に發達したると又一には金融緩慢な
 りし爲めに大上米の輸入漸次増加し中旬頃には深
 川在米七十四萬俵と稱せり茲に於てか氣配は頗るダレ
 姿なりしが何様地廻米が深川濁水の爲めに更に入荷せ
 るると又海外輸出口へ九州米を買望むとの噂ありしよ
 り月末に至りて價位稍や引續れり
 三月 此の月に入りても尙ほ關東地廻米は出穀少く東
 京市中需用米の七八分は何れも深川市場に供給を仰げ
 り且つ海外輸出も引續き好況なりしかば商勢自ら引續
 りたり然るに彼岸以降氣候候に暖氣となり且つ北國建
 運船の時ありしかば何れも賣急定期等へ換集きた
 るも多かりし爲めに定期相場も一時氣崩れ續續となれ
 り
 四月 地廻米三陸米、東海道米等の輸入漸々しからず
 且つ相應の例行あるにも拘はらず大上米は續て運着し
 且つ定期受米筋より随分賣出したる爲め相場兎角延び
 兼ねたり折柄中旬頃朝鮮防穀事件に關する噂あり
 越えて數日暴風雷雨鳴り加へて豆の如き降雹あり
 りしかば一時人氣を動かしめたり去りながら稻實の
 播種前なりし爲めに苗代には關係なく且つ麥作にも強
 の被害あらざりしもの如くなりしかば相場に波動
 は與へざりし尤も中米以下のものは品質の變傷を恐れ
 て米持筋は多少賣急の風情見たり
 五月 當月は第六期納稅期と肥料買入季節なりし爲め
 農家は自然金銭の必要を感するも多し小日ながら
 地廻米の入荷ありしが時節柄のみとして何れも品質を
 恐れて當用口の外は棄出して買進せず上旬より中旬に
 至る迄は氣配漸次不味なりしが十八日に至り朝鮮防穀
 事件の談判今にも重要せんとする形勢ありしかば人氣
 一時に沸騰したりそれを加へて氣候不順なりしかば月
 末には随分活潑なる市況を呈したり
 六月 前月以來此の月上旬へ掛けて兎角雨天勝なりし
 爲めに氣候も當に冷氣を感じたりそれが爲め麥作は素
 より苗代の發生にも障礙あるならんとの説ありて商勢
 漸次引續されり然るに入梅以降氣候一變して晴天打續
 き麥作も實際の收穫に於て案外なる好結果なりしかば
 關東地方の農家も始めて圓米を出すに至れり左ればに
 や大上米の捌口思はしからず且つ兩羽米及び大上米等
 の輸入も多し米持筋は樹減り品傷を恐れて安直に賣出
 さんと欲せるものありき月末に至りて例の外國爲替相
 場暴落の影響にて再び引續り成行を呈したり
 七月 是迄輸入米の過半を占めたる大上米の輸入額に
 絶へ且つその他も株立たる輸入なかりし爲め深川在
 米高も頗る減少したるがそれかあらぬか發會以來十五
 六日頃迄は引續き漸進せり此の時に方りて各地共稻作
 の發育佳良なりとの報道ありしも天災季節なるも又一
 には爲替相場場の安直との爲めに案外に上位保ち合ひな
 りし然れども土用の入も土用三節も極めて平穩に経過
 したる爲め下旬に至りて價位少しく引續みたり
 八月 新古米相場時に際したる爲めに輸入は益す減少
 せり且つ大坂、桑名外二三の米穀取引所に於て定期八
 月限の取組高殊の外多く隨て其受渡の爲めに一時拘束

○米米米 況
 一月 四日の發會に於て正米の相場頗る多く三萬
 二千餘圓の手合なりしがその後深川在米漸次嵩み相場
 は漸ね保ち合景況なりし尤も下旬頃には近國地方より
 の買客あり且つ定期(掛集)ものも多し活潑なる景況

○大坂市
 就ては毎度
 十五日の大
 や將亦大
 兎に角已前
 し爾米大坂
 を舉げ諸商
 げ築港面
 し就ては市
 懸觀會を催
 掛ると云ふ